

三菱掃除機(家庭用)

取扱説明書

形名

テー シー イーエックス

イー

TC-EX85E2

(パワーブラシ)

特長

- 軽量コンパクト サイクロン式掃除機
- 軽量パワーブラシ



仕様

形名	TC-EX85E2
電源	100V 50-60Hz
消費電力	850W~約300W
吸込仕事率※	300W~約80W
運転音	63dB~約59dB
集じん容積	0.6L(ゴミすてラインまで)
質量	3.8kg (ホース・伸縮パイプ・パワーブラシ含む)
コードの長さ	5m
標準付属品	ホース・伸縮パイプ・パワーブラシ
応用付属品	サッシノズル・お手入れブラシ(ダストケース装着品)
本体寸法	幅:210×奥行:323×高さ:220(mm)

※吸込仕事率は、伸縮パイプ最長時のものです。(ティッシュペーパー装着時は、約20W低下します)

もくじ

ページ

安全のために必ずお守りください … 2

各部のなまえと組み立てかた …… 3

お掃除のしかた …… 4

お掃除が終わったら …… 4~5

- ゴミをすてる
- ティッシュペーパーを使う

収納する …… 5

お手入れ (ダストサインが点灯・点滅したとき
吸込力が弱くなったとき) … 6

故障かな?と思ったら …… 7

保証とアフターサービス …… 裏表紙

保証書 …… 裏表紙

<保証書付>

保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いていますので、お買上げの販売店の記入をお受けください。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 裏表紙の「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書(保証書)」「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」は、大切に保存してください。

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

<抗菌について>

部 品 名	銀ナノHEPAフィルター
抗菌の確認名	(一財)ボークン品質評価機構
試験方法	JIS L 1902に基づく
試験結果	99%以上
抗菌の方法	フィルター材に含浸
抗菌の処理を行っている部品名称	ひだ織り不織布

製品登録のご案内

三菱電機のウェブサイトで「製品登録」いただくと、製品に関するお役立ち情報をメールやウェブサイトでご紹介します。

三菱電機製品登録

検索

安全のために必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■本文中や本体に使われている図記号の意味は右のとおりです。

してはいけないこと

必ず実行すること

指を挟まないよう注意 (パワーブラシ表示)

警告

してはいけないこと

- 引火性のあるものや火気のあるもの・液体を吸わせない (灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナーなどの可燃物、たばこの吸い殻、水、飲みものなど) [火災・感電の原因]
- 電源コードを回転ブラシに巻き込まない [感電の原因]
- 改造しない、分解・修理しない [火災・感電・けがの原因]
- 運転中は回転ブラシや回転ストッパーに触れない [けがの原因] 特にお子さまにご注意ください。
- カバーが開いているとき、カバーを持って本体を持ち上げない [本体の変形やけがの原因]
- 水洗いしない、風呂場などでは使わない [感電の原因] (ダストケース・回転ブラシ・サッシノズルのみ洗えます)
- 電源プラグをぬれた手で抜き差ししない [感電やけがの原因]
- いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使わない [感電・ショート・発火の原因]
- 電源コードや電源プラグを傷つけない (傷つけ・無理な曲げ・引っ張り・束ねたり・ねじったり・重いものをのせたり・挟み込んだり・加工しない) [破損して、火災・感電の原因]

必ず実行すること

- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う [他の器具と併用すると、発熱して火災・感電の原因]
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む [差し込みが不完全だと、感電・ショート・発煙・発火の原因]
- ゴミすて・お手入れのときは電源プラグを抜く [感電やけがの原因]
- 電源プラグのホコリなどは定期的に乾いた布でふき取る [ホコリなどがたまる、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因]
- 異常・故障時には直ちに使用を中止する
 - スイッチを入れても、運転しない
 - 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中、時々止まる
 - 運転中、異常な音が出る
 - 本体が変形したり、異常に熱い
 - ホースが破れている
 - こげくさいにおいがする
 - その他の異常や故障がある
 [発煙・発火、感電、けがの原因]
- すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店にご相談ください。

注意

してはいけないこと

- 吸込口をふさいで長時間運転しない [過熱による本体の変形・発火の原因]
- 排気口をふさがない [火災の原因]
- ホース・伸縮パイプ・本体のピン穴に金属物を入れない [感電の原因]
- ガソリン・ベンジン・シンナーなど、引火性のものの近くで使わない [爆発や火災の原因]
- 排気口・電源コード引き出し口に手や足を近づけない [排気により、やけどの原因] 特にお子さまにご注意ください。
- 火気に近づけない [本体の変形によるショート・発火の原因] [排気でストーブの火などが大きくなり、火災の原因]
- 収納の状態では本体を持ち運ばない [伸縮パイプがはずれて、けがや床面に傷がつく原因]

必ず実行すること

- 使い終わったら電源プラグを抜く [けが・やけど、感電・漏電火災の原因]
- 電源コードは電源プラグを持って抜く [感電やショートして発火・火災に至る原因]
- 電源コードを巻き取る時は電源プラグを持つ [電源プラグがあたって、けがの原因] 特にお子さまにご注意ください。

故障などを防ぐために

この掃除機は家庭用です。業務用としての使用や、お掃除以外の目的には使用しないでください。また、次のことにお守りください。

- ホースなどのピンにさわらない
- 手元パイプや伸縮パイプの先で吸わない (ブラシ・すみずみブラシ・ノズルなどをつけて使用する)
- パワーブラシの車輪・回転ブラシ・ふきブラシなどが摩耗したら、そのまま使わない P6 (お手入れ時に点検し、摩耗時は交換・修理する) [故障や床面に傷がつく原因]
- 殺虫剤、消臭剤などをかけない

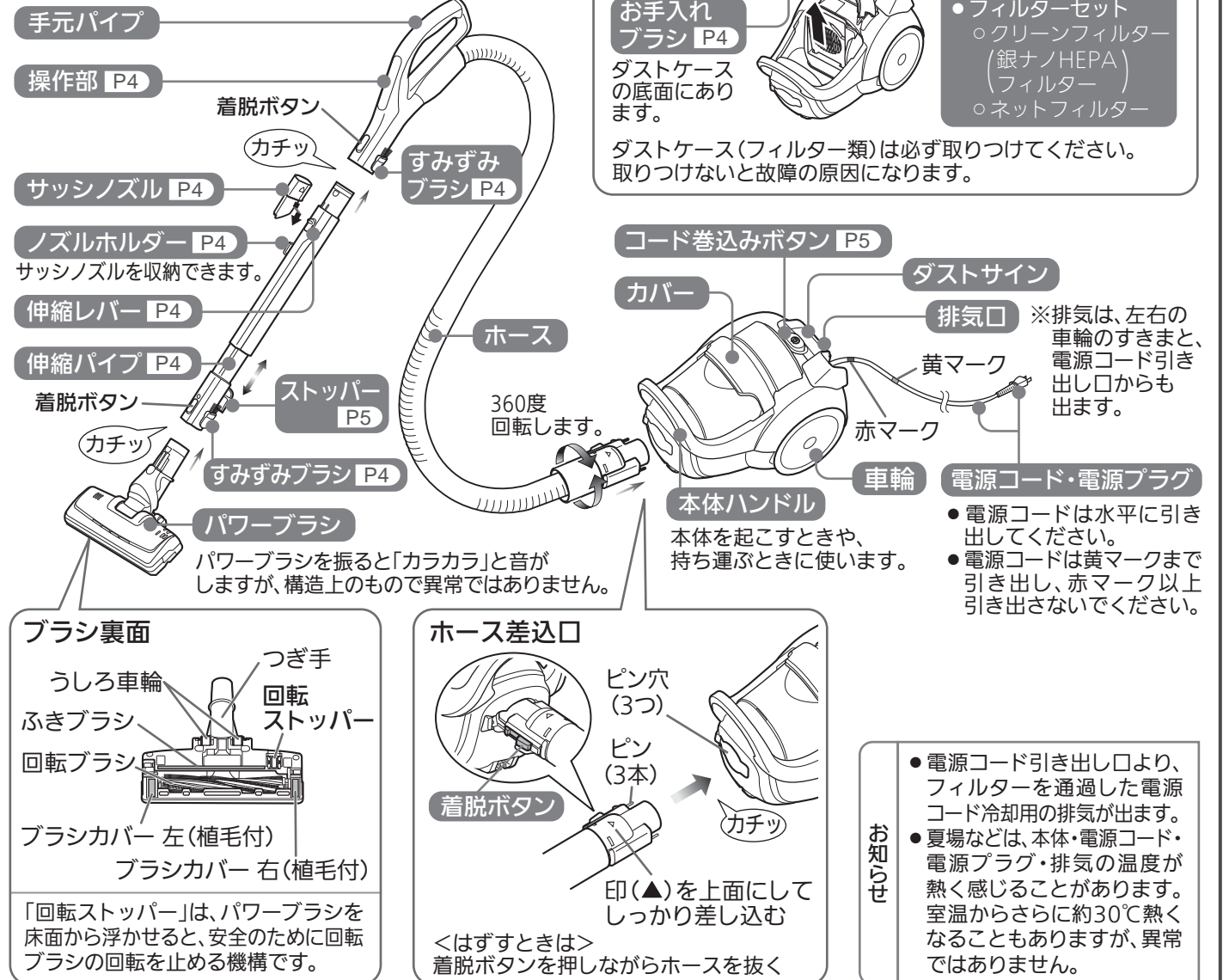
- ホースを持ってぶらさげない
- ホースを傷つけない
- 破れたり、傷ついたホースを使わない
- 本体に乗らない (特にお子さまにご注意ください)



- 次のようなものは吸わせない [故障や詰まり、異臭の原因]
 - 水などの液体や、湿ったゴミ
 - ガラス、ピン、針、つま楊子、綿棒
 - 多量の砂や粉 ●除湿剤
 - ペットなどの排泄物が付着したもの
 - くつした、ティッシュペーパー、ビニール袋、長いひも
 - カーペットのふさなど
 - ペットボトルのふたなど

各部のなまえと組み立てかた

- ホース・伸縮パイプ・パワーブラシは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- はずすときは、着脱ボタンを押しながら抜いてください。
- 組み立てるときは、指をはさまないようにご注意ください。



本体内部

ハンドル
ダストケースを取り出すときに使います。

お手入れブラシ P4
ダストケースの底面にあります。

ダストケース
吸ったゴミがたまります。ゴミのすてかた P4~5

ダストケース内

- 旋回部
- フィルターセット
 - クリーンフィルター (銀ナノHEPA フィルター)
 - ネットフィルター

ダストケース(フィルター類)は必ず取りつけてください。取りつけないと故障の原因になります。

ブラシ裏面

うしろ車輪
つぎ手
回転ストッパー
ふきブラシ
回転ブラシ
ブラシカバー 左(植毛付)
ブラシカバー 右(植毛付)

「回転ストッパー」は、パワーブラシを床面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転を止める機構です。

ホース差し込み

ピン穴(3つ)
ピン(3本)
着脱ボタン
カチッ
印(▲)を上面にしてしっかり差し込む

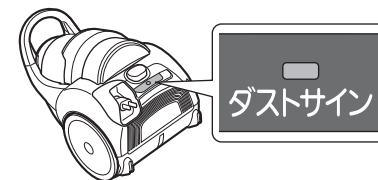
<はずすときは>
着脱ボタンを押しながらホースを抜く

お知らせ

- 電源コード引き出し口より、フィルターを通過した電源コード冷却用の排気が出ます。
- 夏場などは、本体・電源コード・電源プラグ・排気の温度が熱く感じる場合があります。室温からさらに約30℃熱くなることもあります。異常ではありません。

標準付属品		パワーブラシ (1個)		ホース (1本)		伸縮パイプ (1本)		ダストケース (1個)	応用付属品		サッシノズル (1個)		ダストケースに装着済み お手入れブラシ (1個)

ダストサイン(赤) (お手入れの時期をお知らせします)



- ダストサインが点灯・点滅したまま使い続けると、故障の原因になります。お手入れしてください。
- ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミが詰まったまま連続運転すると、点灯・点滅します。お手入れしてください。 P4~6

点灯	■吸込力「強」のときにのみお知らせします。 ●ダストケースのゴミをすててください。 P4~5 ●それでも点灯するときは、フィルター類が目づまりしています。お手入れしてください。 P6
点滅	■フィルター類が目づまりしたため、吸込力が自動的に低下しました。お手入れしてください。 P6 ●この状態で運転を続けると、保護装置が働き運転が止まります。 P5

お掃除のしかた

警告 いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使わない

- お部屋を整とんしてから掃除機をかける、手際よくお掃除でき、電気のコムダを省けます。
- 床・たたみの目にそって掃除機をかける、傷つき防止になります。

運転を始める

電源プラグをコンセントに差し込み、

強入 または 中/弱 を押す



押すごとに、パワーブラシの回転が「切」「入」する回転「入」でも、床面からブラシを浮かせると回転が停止する(回転ストッパーが働きます)。
どの床面でも、パワーブラシが回転した状態でお使いいただけます。

吸込力「強」で運転を始める
スイッチに凸マーク(●)がついています。

吸込力「中」で運転を始め、押すごとに吸込力が切替わる
中 ↔ 弱
掃除場所に合わせて切替えてください。

運転を止める
スイッチに凸マーク(◀)がついています。

おねがい

- <パワーブラシについて>
- 同じ場所をくり返しお掃除しない。[床面に跡がつく原因]
 - 床面にゆっくり置く。(落とすように置かない)[回転ブラシが回転しない原因]
 - 壁・床面などに強く押しあてない。[傷つきの原因]
 - うしろ車輪・ふきブラシ・ブラシカバー 左右(植毛付)が摩耗したら交換・修理する。[床面に傷がつく原因]
 - 強く横やなめ方向に動かさない。[車輪などで床面に跡がつく原因]

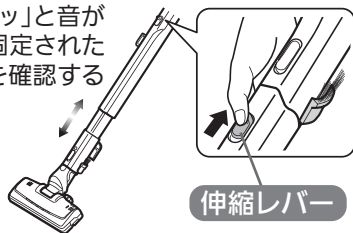
お知らせ

- 電源プラグを差し込んだときに火花が出る場合があります。(本体内部の電気部品に充電するための電気が流れるためです。異常ではありません。)
 - 新しいじゅうたんは、初めのうち「遊び毛」が抜けます。
 - 床用ワックスなどをご使用の場合、塗布面にすり傷がついたり、こすれて光沢に差が出る場合があります。
 - お掃除中は、テレビ画面にノイズが発生することがあります。(テレビ本体に影響はありません)
- <パワーブラシについて>
- 砂ゴミの上で使うと、床面を傷つけることがあります。
 - 回転ストッパーから、こすれるような音(キュッキュ)がすることがありますが、異常ではありません。

伸縮パイプの長さ調節

伸縮レバーを手前に引きながら、長さを調節する(約48~69cmに調節できます)

「カチッ」と音がして固定されたことを確認する



床面をお掃除しながら、伸縮レバーに触れないでください。固定が解除され、縮むことがあります。

サッシノズルの使いかた

手元パイプまたは伸縮パイプにしっかりねじこむ



- 吸いつき防止のため、吸いつき防止穴からも吸気しています。

サッシノズルを使用中に、ダストサインが点灯したり、本体が少し熱くなることがあります。ダストサインが点灯した場合は、「弱」でお使いください。

すみずみブラシの使いかた

伸縮パイプ、またはパワーブラシをはずし、すみずみブラシを起こす

- (使い終わったら元に戻す)
- 指をはさまないようにご注意ください。
 - 手元パイプ(特に吸込口下側)・伸縮パイプ(吸込口下側やストッパー)で、床面や家具などを傷つけないようにご注意ください。
 - すみずみブラシがはずれたときは、取りつけてください。
 - ピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。[傷つきの原因]

サッシノズルの収納
ノズルホルダーにサッシノズルをまっすぐ差し込む



はずすときは、サッシノズルを引き抜く。

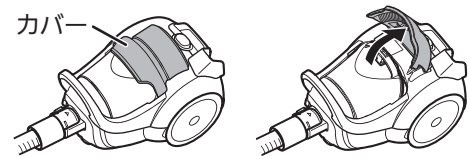
お掃除が終わったら

警告 ゴミをすてるときは電源プラグを抜く

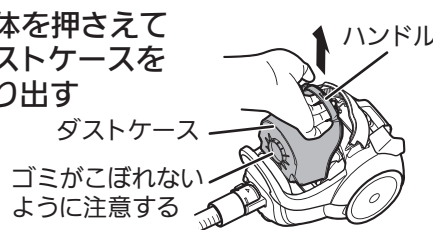
ゴミをすてる

ダストケースのゴミは、ゴミすてラインを超える前にすててください。お掃除ごとにゴミをすてることをおすすめします。

1 本体を横にして、カバーを開ける



2 本体を押さえてダストケースを取り出す



ゴミがこぼれないように注意する

- ゴミすてボタンを押さないでください。(ダストケースが開き、ゴミがこぼれます)
- 本体内部にゴミが落ちていたら、ふき取ってください。

3 クリーンフィルターのゴミやほこりを落とす

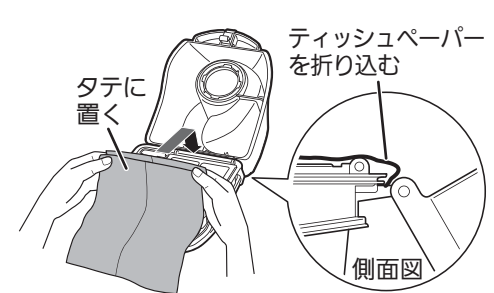
付属のお手入れブラシの柄の先端部をチリ落としガイドに沿わせながら、5回程動かす



- 付属のお手入れブラシ以外は使わないでください。(クリーンフィルターの破損の原因になります)

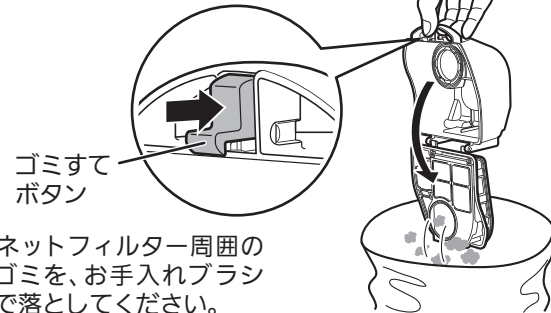
ティッシュペーパーを使う

1 ティッシュペーパーの端を図のように折り込んでセットする



- 市販のお掃除シートなどは使用しない。
- ティッシュペーパーは、ゴミすてごとにこまめに交換する。

4 ゴミすてボタンを押してゴミをすてる

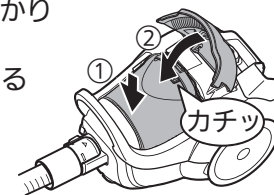


- ネットフィルター周囲のゴミを、お手入れブラシで落としてください。

フィルターセットにティッシュペーパーをセットし、ゴミすてのたびにティッシュペーパーを交換して使うと、フィルターのお手入れが簡単です。
下記「ティッシュペーパーを使う」

5 ダストケースを取りつけ、カバーを閉める

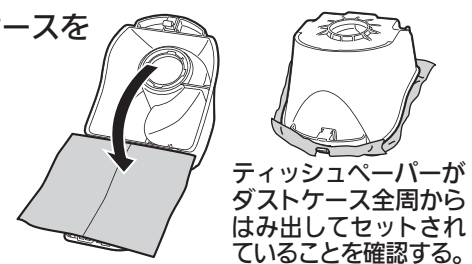
- ①ダストケースをしっかり押し込む
- ②カバーを確実に閉める



カバーを開閉するときは、指をはさまないように注意する。

- フィルターセットのお手入れ回数を軽減することができます。
- 市販のボックスティッシュペーパー1組を使用してください。

2 ダストケースを閉める



ティッシュペーパーがダストケース全周からはみ出してセットされていることを確認する。

ティッシュペーパーを使用すると、次のような症状がおこる場合があります

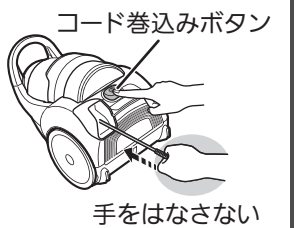
- 運転音が高くなる
 - 吸込力が弱くなる
 - 排気が熱くなる
 - ダストサインが早めに点灯する
- ティッシュペーパーを交換しても症状が変わらない場合は、フィルター類をお手入れしてください。P6

収納する

- 安定の良い床面で、倒れないことを確認してから収納してください。また、倒れたときに他の物が破損しない場所を選んでください。
- パワーブラシをつけたまま収納してください。
- 収納の状態では本体を引きずらない。[床面に傷がつく原因]

1 電源コードを巻き取る

電源プラグを持ち、コード巻きボタンを押す

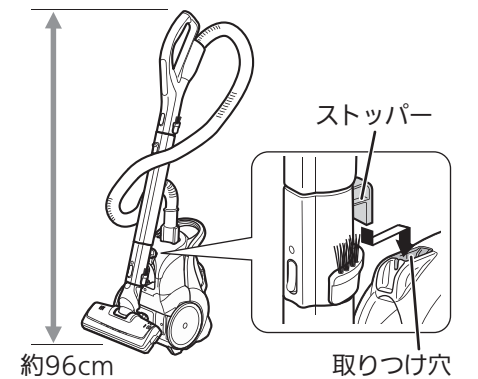


- 確実に巻き取らないと、収納時に床面にプラグ刃があたります。
- 一度で巻き取れないときは、2~3m引き出してから、再度巻き取ってください。

2 伸縮パイプを縮める P4

3 本体を立て、本体の取り付け穴にストッパーを差し込む

4 ホースを伸縮パイプに巻きつける



保護装置について (問合わせと修理を依頼される前に) 次のことをご確認ください

<本体の保護装置>

モーターの過熱を防ぐために、本体の吸込力が自動的に低下します。この状態で運転を続けると、モーターがさらに加熱され、運転が止まります。次の場合に保護装置が働きます。

- ダストケースのフィルター類が目づまりした
- 吸込口を密閉したまま連続運転した
- ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミなどがつまったまま、連続運転した
- 先の細い吸口を連続使用した

この状態で使い続けると、故障の原因になります。

直しかた

- ①電源プラグを抜く
 - ②ダストケースのフィルター類をお手入れし、ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミがつまっていたら、取り除く P6~7
- 「入」または「中/弱」スイッチを押せば、すぐに使用できます。(再び保護装置が働く場合は、①②を再度確認してください)

<パワーブラシの保護装置>

パワーブラシのモーターの過熱を防ぐために保護装置が働いて、回転ブラシが止まる場合があります。次の場合に保護装置が働きます。

- 回転ブラシに髪の毛・異物などがからんだり、通気口にゴミがたまったりしたまま使用した
- 回転ブラシを回転させたまま、長時間放置した
- パワーブラシを床面やじゅうたんに強く押しつけた
- 特に薄いじゅうたん・毛足の長いじゅうたんを掃除した

直しかた

- ①運転「切」にし、電源プラグを抜く
 - ②パワーブラシをお手入れする P6 →保護装置が解除されるまで、約5~10分お待ちください。(時間は周囲温度によって異なります)
- 本体の保護装置が働いて約3分経過すると、パワーブラシのモーターの加熱を防ぐために回転ブラシが止まります。

お手入れ (ダストサインが点灯・点滅したとき P3) 吸込力が弱くなったとき

警告 お手入れのときは
電源プラグを抜く

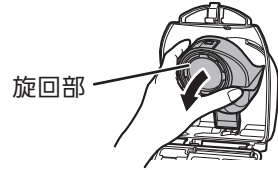
ダストケース

●ネットフィルター ●クリーンフィルター ●旋回部

●吸込力を保ち、衛生的にお使いいただくために、1カ月に1回程度お手入れしてください。
(ゴミの種類によってはフィルターが目づまりしやすくなる場合がありますので、お掃除ごとのお手入れをおすすめします)

1 旋回部をはずす

お知らせ 旋回部は分解できません。



2 ゴミを落とす

●付属のお手入れブラシでゴミを落とす(付属のブラシ以外は使わない)
ダストケース底面

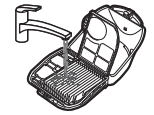


●クリーンフィルターのゴミをたたいて落とす



お手入れブラシを使うときは軽く使う

<水洗いのしかた>
こびりついたゴミはしっかり落としてから水洗いし、陰干しで充分乾燥させる
(乾燥が不十分だと、においの原因になります)

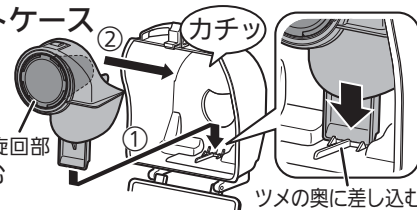


おねがい お湯で洗ったり、つけおき洗いをしない。変色する場合があります。(変色しても、使用上問題はありません)

ダストケースの部品は、すべて水洗いできます
(旋回部は、はずして水洗いし、乾燥させる)

3 旋回部をダストケースに取りつける

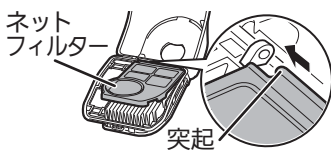
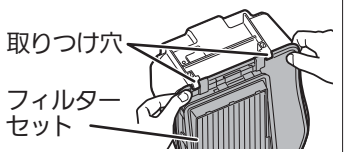
①旋回部下側をツメの奥に差し込む
②上側を押し込む



おねがい ●ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤・漂白剤は使わない。
●暖房器具やドライヤーで乾燥しない。
[ヒビ割れや変形・変色の原因]
●お手入れ後は、必ず旋回部を取りつける。

●フィルターセットがはずれてしまったときは

●ネットフィルターがはずれてしまったときは



本体

かたくしぼった柔らかい布で水ぶきする

おねがい アルコール・シンナー・ベンジンなどでふかない。
[変質や変色の原因]

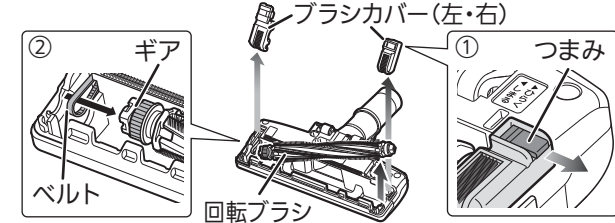
●ネットフィルター、クリーンフィルター、お手入れブラシ、すみずみブラシ、回転ブラシ、ブラシカバー 左右(植毛付)は消耗部品です。消耗したら交換してください。 P7
●ふきブラシ、うしろ車輪が摩耗したら、部品交換が必要となります(有料)。その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

パワーブラシ

●必ず伸縮パイプからはずしてお手入れしてください。
●うしろ車輪・回転ストッパーにゴミがからみついてそのまま使わないでください。[車輪などが回らず、故障や床面を傷つける原因]
●ふきブラシ・うしろ車輪・ブラシカバー 左右(植毛付)が摩耗したまま使わないでください。[床面を傷つける原因]
●お手入れの際は、特にお子さまにご注意ください。

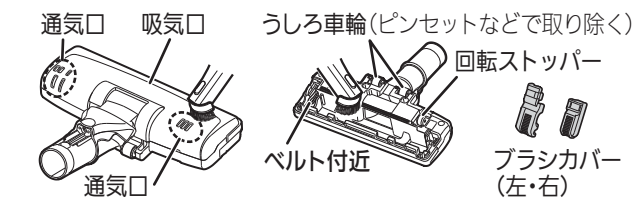
1 回転ブラシをはずす

①つまみをマイナスドライバーなどでスライドさせ、ブラシカバー(左・右)をはずす
②回転ブラシを持ち上げ、ギアをベルトからはずす



2 ゴミを取り除く

<ふだんのお手入れ>
①回転ブラシにからんだ糸くずなどをハサミで切り、吸い取る
②下記部分のゴミを吸い取る

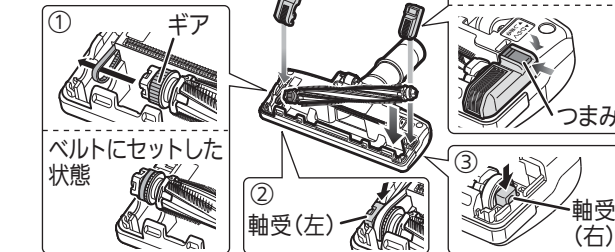


●通気口にゴミがついたままだと、保護装置が動作しやすくなります。

<汚れが気になったとき>
回転ブラシを水洗いし、水分をふき取り、陰干しで充分乾かす(つけおき洗いはしない)

3 回転ブラシを取りつける

①ギアをベルトにセットする
②軸受(左)を溝に押し込む
③軸受(右)を溝に押し込む
④ブラシカバーのツメを凹部にかけて、つまみを確実に戻す



おねがい ●パワーブラシ本体は水洗いしない。[故障の原因]
●洗剤・漂白剤などは使わない。
●暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しない。
●回転ブラシに注油しない。[変形・変色・故障の原因]
●お手入れ時にハサミで回転ブラシの植毛を切らないように注意する。

すみずみブラシ

ゴミがからんだら、吸いながらようじなどを使って取る



おねがい 水洗いしない。
[故障の原因]

故障かな?と思ったら

こんなとき	調べるところ・直し方	参照ページ
●急に運転が停止した ●ダストサインが点灯・点滅した	次の場合、本体の保護装置が働いています。 ●ダストケースにゴミがたまりすぎた。 ●先の細い吸口を長時間使用した。 ●ふとんや衣類の圧縮袋を使用した。 →ダストケースのゴミをすて、お手入れする。 ●ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミなどがつまった。 ●ティッシュペーパーが目づまりした。	P5 P4~6
●吸込力が弱くなった ●運転音が高くなった ●ホースが縮む	●ダストケースにゴミがたまりすぎていませんか。 →ダストケースのゴミをすて、フィルターをお手入れする。 ●ティッシュペーパーが目づまりしていませんか。 →ティッシュペーパーはゴミすてごとに交換する。 ●延長コードを使用したり、他の製品と同一のコンセントで使用すると、電源電圧が低下し、吸込力が低下する場合があります。 →定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用。 ●ホース・伸縮パイプ・パワーブラシに異物がつまっていませんか。 →つまっていたら取り除く。	P4~6 P4~5
<ホースに異物がつまったときは>		
点検する	取り出す	
ホースを本体からはずし、片側から単3電池などを入れる。 反対側から出なければ、異物がつまっています。	吸込力で移動させる ①パワーブラシ・伸縮パイプをはずして、ホースをまっすぐに伸ばす。 ②吸込力[強]で運転しながら「手元パイプ部を手のひらで「ふさぐ」はなす」の動作をくり返す。	細長いものでかき出す針ハンガーなど、弾力のあるものを伸ばして先端を曲げ、異物に引っかけて取り出す。(ホースを破かないように注意する) ペンチなどで、被覆ごと指先程度の幅に曲げる
運転しない	●電源プラグ、ホースが確実に差し込まれていますか。 →差し込み直す。 ●ホースの本体差込口側のピンに、ゴミがついていませんか。 →取り除く。	P3
回転ブラシが回らない・回りにくい	●パワーブラシを床面から浮かせていませんか。 →回転ストッパーが働いています。床面につけて動かす。 ●薄いじゅうたんやマットなどで、吸いつきすぎていませんか。 →吸込力を[中]または[弱]にする。 ●毛足の長いじゅうたんでは、パワーブラシが回りにくいことがあります。 ●回転ブラシに髪の毛・異物などがからんだり、通気口にゴミがたまっていませんか。 ●回転ブラシを回転させたまま、長時間放置していませんか。 ●パワーブラシを床面やじゅうたんに強く押しつけていませんか。 ●特に薄いじゅうたん・毛足の長いじゅうたんをお掃除していませんか。 →パワーブラシの保護装置が働いています。お手入れしてください。	P3 P4 P6
電源コードが巻き取れない・引き出せない	●電源コードが正常に巻き取られていないときがあります。 →(巻き取れないときは2~3m引き出してから)コード巻き込みボタン(●マークの中央部)を押しながら、少しずつ「巻き取り」「引き出し」をくり返す。	
排気におう	●ダストケースに、ゴミがたまりすぎていませんか。(食べ物のかすやペットの毛などがにおう場合もあります) →ゴミをすて、フィルターをお手入れする。 ●フィルター類が汚れていませんか。 →お手入れする。 ●フィルター類が十分に乾いていますか。 →水洗い後は、陰干しで充分に乾燥させる。	P4~6 P6
本体や排気が熱く感じる	●夏場など、本体が室温からさらに約30℃熱くなることがあります。 ●モーターを冷却した空気を排気しているため、熱く感じる場合があります。 →異常ではありません。	
ダストサイン	●吸込力[強]で確認していますか。 →[強]のときにお知らせします。 ●綿ゴミやペットの毛などが多く、風を通しやすいためゴミがいっぱいでも点灯しないことがあります。 →ダストケースをお手入れする。	P3 P6
点灯する	●ダストケースにゴミがたまっていませんか。 →ゴミをすてる。 ●フィルター類が目づまりしていませんか。 →お手入れする。	P4~5 P6
点滅する	●ダストサイン点灯後も、お手入れせずに使い続けていませんか。 ●本体の吸込力が自動的に低下します。この状態で運転を続けると保護装置が働いて運転が止まります。 →お手入れする。	P6

モーターの寿命について、知っておいていただきたいこと

掃除機のモーターには寿命があり、寿命の際には通電が遮断されます。このとき、異臭・異音をともなう場合があります。これはモーターの部品(カーボンブラシ)が摩耗する際に発生するものです。

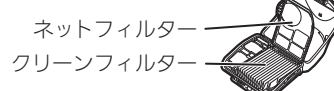
以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

消耗部品

お近くの三菱電機ストア取扱店でお求めください。

●ネットフィルター
部品番号: M11 E13 300

●クリーンフィルター
部品番号: M11 E13 260HEP



回転ブラシ
部品番号: M11 E19 490M



ブラシカバー 左(植毛付)
部品番号: M11 E12 321BL



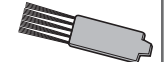
ブラシカバー 右(植毛付)
部品番号: M11 E12 321BR



すみずみブラシ
部品番号: M11 D98 490B



お手入れブラシ
部品番号: M11 E13 183



あると便利な別売部品

別売部品に付属しているつぎ手パイプを接続して使用してください。

ふとんブラシ TI-23A

キャッチブラシ AM-7

ハキトリブラシ AM-8

保証とアフターサービス

■保証書

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間

お買上げ日から1年間です

ただし、下記の部品は消耗部品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。

〈本体〉ネットフィルター、クリーンフィルター、お手入れブラシ
〈パワーブラシ〉回転ブラシ、ふきブラシ、ブラシカバー 左右(植毛付)、うしろ車輪
〈すみずみブラシ〉

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この電気掃除機の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(別紙)にご相談ください。

■修理を依頼される時は

- 「故障かな?と思ったら」(7ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は

- 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

- 1.品名 三菱掃除機
- 2.形名 TC-EX85E2
- 3.お買上げ日 年 月 日
- 4.故障の状況 (できるだけ具体的に)
- 5.ご住所 (付近の目印なども)
- 6.お名前・電話番号・訪問希望日

●便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

愛情点検



★長年ご使用の掃除機の点検を!

このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさいにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、電源プラグ
を抜いてから、必ず販売
店にご相談ください。